**第４３回観察会　2006年10月20日(金) 12:05～12:55　晴れ**

**テーマ『植物園を含む京大　　　　　　　　　　　　　　　　北部キャンパスの地形見学と花折断層』**

**☆ガイドのレポート**

10月20日お昼休みに京都大学植物園を通過する花折断層の実地見学を行った．地図上や話ではきいている花折断層が実際の地形ではどのような状態で観察されるのかを感じてもらおうとの試みであった．植物園入り口で，資料を用いて花折断層の概略などを説明して，実際の花折断層が植物園ではゆるやかな勾配をもつ地表段差で表現されていることを実感してもらった．その後，断層を横切る地形見学のため，植物園南の道路を通過し，疎水べりを北へ歩き，農学部グラウンドの東側崖も断層によって形成されたことを説明し，植物園まで北部キャンパスを歩いた．途中いくつかの質問を答えながらの１時間たらずの説明と見学であったが，活断層というものが実際の地形ではどのような状態で観察されるのかを感じてもらうきっかけになれば幸いである．

ガイド：竹村恵二さん（京都大学理学研究科附属地球熱学研究施設）

[資料１](http://ja3yaq.ampr.org/~bgarden/kansatu/kansatu43shiryo01.pdf)：京大植物園周辺の活断層図

[資料２](http://ja3yaq.ampr.org/~bgarden/kansatu/kansatu43shiryo02.pdf)：花折断層図

[資料３](http://ja3yaq.ampr.org/~bgarden/kansatu/kansatu43shiryo03.pdf)：京都の活断層（平成１３年３月 京都市編）

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 我々の住んでいる足下に断層があることを聞いてたいへんおどろきました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大関係者、山本晋也）
* 何もきずかず考えず日常歩いている所が花折断層、驚きました。ありがとうございました。おそばの花、つゆくさきれい！！　　　　（近所の方）
* おくれてきてしまったので、植物園は見れませんでしたので、感想は難しいです。貴重な機会をありがとうございました。　　　　　（学外のかた）
* 京大の学生だった頃（１０年ほど前です）から、ギモンに思っていた、疎水の流れる方向が南から北であることや、盆地内に吉田山がある理由が分かり、たいへん興味深いお話がきけてよかったです。（自転車で1時間ぐらいのところににお住まいのかた、三好まどか）
* すぐ近くに住んでいますが、いつも上っている坂が活断層ときいてびっくりしました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所にお住まいの京大院生のかた）
* 漠然と白川通あたりとくらいにしかおもっていなかったのですが、吉田山等意外な事実を知れて楽しかったです。　　　　　　　　（近所にお住まいのかた）
* 大変参考になりました。希望を出していましたテーマなので有難うございました。もう少し質問等の時間があれば・・・と残念です。（近所のかた）
* （断層の観察）見えないものを目のあたりに見るように解説して頂き驚嘆。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文学部教員　中務哲郎）
* 先生の地面も生きているというお言葉を聞けて良かった。歩きながらヘビの背中をふんでいるような感覚になったのを楽しめた。　（学外のかた、大西宏志）
* 無知のキョウフは、学問的説明を受ける事で消え去りました。良い機会を有難う御座居ました。　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた　井口勉）
* 京都大学の中に花折断層があることは知っていたが、意外な場所にあることを今日初めて知りました。断層がどこにあるのかの地図をもっと多くの人の目に触れるようになれば良いとおもいました。（人間環境学研究科院生のかた）
* 北白川は扇状地ということと、急な坂が多いなということが、何か不自然な感じはありましたが、活断層のために、そのようになっていると実感でき、有意義な散歩でした。　　　　　　　　　　　　（近所のかた、荒島千香子）
* 観察会日よりで最高、人々の帽子や服にも目が行っています。他の大学も有るのですが、校内ってのは全国どこでも良いものです。　　（学外のかた）
* 疎水が南から北に流れていることもわかり、たいへん勉強になりました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学内のかた、垣内佑哉）
* 本日開催された観察会は大変興味深く面白いものでした。自分の足の下で花折断層が眠っていると思うと妙な感動がありました。動いて欲しくないけどあと2000年位でズレるはずの断層がこんなに近く存在するのが不思議です。竹村先生がおっしゃったように修学院離宮の池の下を通って吉田山までズレが分る部分を探して歩いてみたくなりました。今回の資料はとても大切にしておきます。　　（学外のかた）